

2018年4月

清潔感はビジネスマンの美德 —うるおいがあり、さらさらマットな肌をめざそう—

株式会社カネボウ化粧品

好ましい印象を与える男性に共通する要素とは、
どんなことでしょうか。カネボウ化粧品が、2018年
に有職者男女702名に行ったアンケート調査では、
ビジネスの場において、男性が目指す・なりたい印
象、女性が好ましいと思う男性の印象のトップは、
いずれも「清潔感」という結果になりました。

そこで今回は、この「清潔感」を演出する要素の
ひとつである男性の「肌」のメンテナンスについて、
アドバイスします。



※カネボウ化粧品実施 web 調査(2018年)「身だしなみに関するアンケート」 20~50代 男性352名 女性350名

REPORT①

日本の20~50代の有職者男女702名に、「身だしなみを整える理由」について尋ねました。
提示した15の選択肢の中から複数回答で選ばれた上位5つの項目は、順位こそ違うものの、男女
同じで、「他人に不快感を与えない」ために身だしなみを整えると回答した方が最も多い結果とな
りました(表1)。

REPORT②

男性の見た目(外見)を表すイメージの中で、男性には「なりたい・憧れる」ものを、女性には
「好ましい・憧れる」と思うものを、29の選択肢の中から複数回答で選んでもらいました。

すると、男女ともにダントツの1位は「清潔感のあること」という結果に(表2)。特に、女性
では「清潔感のあること」の回答が8割を超えました。「スポーティ」「ダンディ」といったイメ
ージは、好みやその人がもともと持っている雰囲気によっても評価が分かります。それに比べて、「清
潔感」は、男性にとっても女性にとっても実現可能かつ、ビジネスにおいて不可欠な要素であるこ
とがあらためて示されました。

表1 「身だしなみを整える理由」

	男性		女性	
1位	他人に不快感を与えない	63.1%	他人に不快感を与えない	78.6%
2位	常識があると思われる	53.1%	きちんとしてみえる	58.9%
3位	清潔感が増す	37.2%	常識があると思われる	56.3%
4位	きちんとしてみえる	36.4%	清潔感が増す	52.0%
5位	第一印象が良くなる	34.7%	第一印象が良くなる	49.1%

表2 ビジネスシーンで、男性が「なりたい・憧れる」印象
女性から見た男性の「好ましい・憧れる」印象

	男性		女性	
1位	清潔感のある	59.9%	清潔感のある	83.1%
2位	さわやかな	42.3%	さわやかな	62.6%
3位	若々しい	41.2%	自然な	42.6%
4位	自然な	26.1%	親しみやすい	42.6%
5位	知的な	25.0%	知的な	40.9%

REPORT③

表3 男性に対して「清潔感がない」と感じるとき

では、「清潔感」はどのようにしたら得られるのでしょうか。有職者男女に、「男性に対して清潔感がないと感じるとき」を23の選択肢の中から複数回答で選んでもらいました。その結果の上位をまとめたものが、右の表3です。

男女に共通して回答が多かった上位5項目は、ニオイ（体臭・口臭）、髪の毛のベタつき、フケ、髪の毛の脂っぽさでした。「清潔感」のチェックポイントとしてまず見られているところは、衣服や靴よりもその人自身で、特に顔のまわりは注目されていることがうかがえます。

「肌」については、男性よりも女性の注目率が高い傾向がありました。「肌がベタついている」「肌がテカテカしている」という項目は、男女合わせても3割以上の方から選ばれていました。男性の肌もよく見られていると言えます。

このような結果を参考に、さらに“清潔感を高めるヒント”を見つけてみてください。

男女計		
1位	体臭	63.7%
2位	口臭	62.8%
3位	髪がベタついている	62.7%
4位	フケ	62.3%
5位	髪が脂っぽい	60.1%
6位	服の着方がだらしない	46.9%
7位	爪が汚れている	43.9%
8位	服にシミがある	38.0%
9位	ひげのそりのこし	37.0%
10位	肌がベタついている	36.5%
11位	肌がテカテカしている	33.9%

～男性の肌

FACT①

皮脂量を男女で比較してみると、男性の顔の皮脂量は女性に比べて約2倍多いことがわかっています（当社調べ）。テカリやベタつきの原因は過剰な皮脂なので、男性のほうがベタつきやテカリを生じやすいのです。

FACT②

頬と口もとの角層水分量を男女で比較してみると、男性は女性に比べて有意に水分量が少ないことがわかっています（当社調べ）。このことから、男性の肌は、乾燥もしやすいと言えます。

～目指したいのは、うるおいがあり、さらさらマットな肌

ADVICE① 洗顔



うるおいが実感できるでしょう。

洗顔で大事なことは、皮脂や汚れだけをやさしく取り除き、うるおいを取りすぎずに洗うことです。たとえば、「クレイ（泥）」という成分は、皮脂を吸着する性質があります。また、「酵素」の中には、古くなった余分な角質などのタンパク質や皮脂を分解するものもあります。そこで、洗顔料を選ぶ際に、こういった成分が配合されているものを選ぶと、過剰な皮脂だけをやさしく取り去り、適度なうるおいを残しながら、つるつるサラサラ

さっぱりとした洗い上がりは、大変気持ちのよいものですが、心配なのは力を入れすぎて、肌を

傷つけてしまったり刺激を与えてしまうことです。どんな洗顔料でも、基本はふんわりと泡立てる、こすらない、ゴシゴシ拭かないことが、うるおいを取りすぎないコツです。

ADVICE② 整肌



ベタつきやテカリが気になる一方で、男性の肌は、乾燥しやすいといえます。そこで、習慣にしたいのが毎日の保湿ケアです。

洗顔料で皮脂や汚れを取り去ったら、化粧液や化粧水などでうるおいを与えましょう。皮脂が出やすい方は、肌につけたときの感触がさっぱりとするものや、肌を引き締める効果をうたっている商品を選ぶとよいでしょう。皮脂を吸着する成分が入った商品もあります。基本は、清潔な手でなじませるという使い方ですが、額や鼻の周りなどのテカリやベタつきが特に気になる方は、化粧水などをコットンに十分な量含ませて、軽くパタパタと押さえるようにパッティングするのもおすすめです。外出先でテカリやベタつきが気になった場合は、

脂取り紙などでオフすることも有効です。

皮脂は、肌にツヤを与えたり、皮膚の水分の蒸散を防ぐなどの役割もあります。上手にケアを行って、清潔感のある肌を保ちましょう。